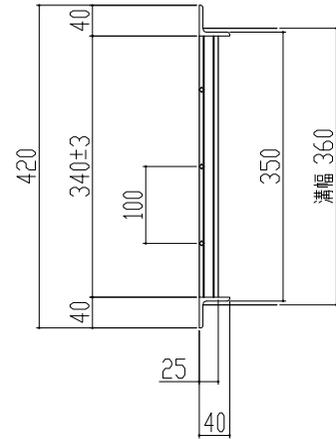
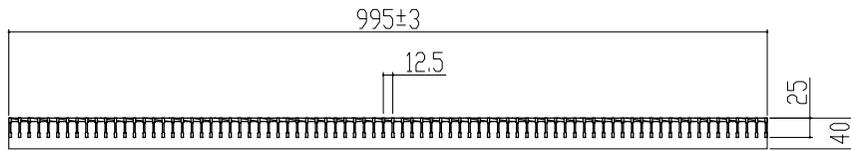


← 車輛進行方向(側溝) →



重量 19.3kg



主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正事項 訂正者承認印	標準製作図面				承認印	検印	製図	図面名称 U字溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅360用 細目 ノンスリップ T-6 LNHU253-36	図番 MK株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MGK-L-474
	試作図面				平元	山口	松本		
	特注図面				材質	数量	縮尺		
	検討図面				主部材SS540				

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHU253-36
	製品寸法	340x995x25
	主部材	I-3 × 1.8 × 25
	断面係数	Z = 0.301 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-6	支点間距離	L = 360
	後輪一輪荷重	P = 24000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 240 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 24000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 48000$ $\omega = 6.25 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2 \quad \text{より}$ $M = 6.25 \times 0.5 \times 240 \times (360 - 0.5 \times 240) / 2$ $M = 90,000 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 90,000.0 / 301.000$ $\sigma_b = 299.00 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{299.00 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--